SONY

ステレオイヤーレシーバー

取扱説明書

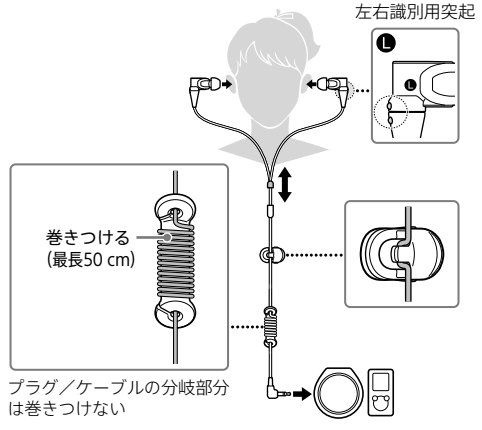
* 4 5 7 8 9 6 9 0 1 * (1)

4-578-969-**01**(1)

XBA-300

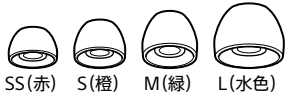
本機を装着する

おさまりのいい位置に装着してください。



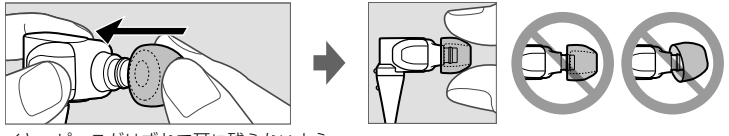
イヤーピースを交換する

低音が不足していると感じたときは、左右それぞれの耳にフィットするイヤーピースに交換してください。



●イヤーピースのはずしかた

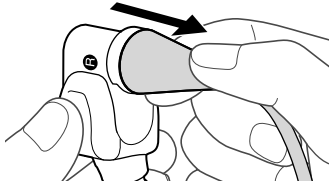
●イヤーピースのつけかた



イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、しっかりつけてください。

ケーブルをはずす

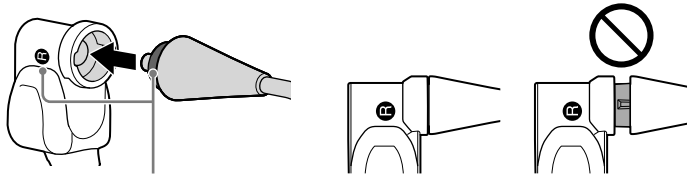
●ケーブルのはずしかた



ご注意

- ケーブルを直接引っ張ると断線するおそれがあります。ブッシング根元部分を引っ張ってください。
- ブッシングの根元を回さないでください。破損の原因となります。
- ケーブルをはずすとき、斜めに引っ張らないでください。ケーブルがはずれにくくなります。

●ケーブルの取りつけかた



左Ⓛ:ライトグレー、シルバー
右Ⓡ:赤、赤

ご注意

- ケーブルを取りつけるときは、ケーブルの先とイヤーレシーバー左右にある表示部の色を確認してください。

主な特長

- **ハイレゾリューション･オーディオ再生対応トリプル･バランスド･アーマチュア･ドライバーユニット**
  バランスド･アーマチュア･ドライバーを3基(フルレンジ＋ウーファー＋HDスーパートゥイーター)を搭載。ボーカルや楽器そのものがもつ音色をダイレクトに表現します。
- **リニアドライブバランスド･アーマチュア**
  シンメトリックアーマチュアとダイレクトドライブ構造をフルレンジ、HDスーパートゥイーターに加えて、ウーファーにも採用。またそれぞれに適切な形状と素材の振動板を採用することで入力信号に忠実に振動板を駆動し、透明度の高い音質を実現します。
- **HDスーパートゥイーター**
  振動板にアルミニウム合金を採用。軽量化と高剛性化を両立し超高域再生を実現。
- **伸びのあるクリアな中高音を実現する真鍮音導管**
  音の要となる音導管に真鍮を採用。音導管の内径を拡大することで、伸びのあるクリアな中高音を実現。
- **ダブルレイヤードハウジング**
  インナーハウジングには高剛性と高内部損失のマグネシウム合金を使用したリジッドマウントハウジングを使用し、バランスド･アーマチュア･ユニットを堅牢に固定。アウターハウジングと異種材料で複合させることで、音の立ち上がりをさらに改善し、余計な振動を抑制したクリアな中高音を実現。
- **ノイズブロック構造**
  高い遮音性を持たせた筐体構造により、音漏れを低減し、周囲の騒音も抑制。
- **小型で快適な装着性**
  バランスド･アーマチュアドライバーユニットを効率よく配置することで、ハウジングを小型化。快適な装着性を実現します。
- **独立グラウンドケーブル**
  グラウンドを分離した4芯構成により左右のセパレーションを改善し、音の広がりと引き締まった低音を実現。バランス接続対応機種と組み合わせれば、バランス接続を構成できます。
- **銀コートOFC線**
  OFC(Oxygen Free Copper;無酸素銅)に銀めっきを施した芯線を採用。信号伝送ロスを最小限に抑え音の劣化を少なくし、なめらかな高音域の再生を実現。
- **ケーブルを使い分けられる着脱式**
  別売のソニー製のヘッドホンケーブル(MUC-Mシリーズ)に対応、さらなる高音質をお楽しみいただけます。

安全に関するお知らせ

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 禁止

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべてまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する。

⚠警告 禁止

交通安全のために

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

⚠注意 禁止

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 音量を上げすぎると音が外に漏れます。まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- 本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合はすぐに本機の使用を中止してください。
- イヤーピースはしっかり取り付けてください。イヤーピースがはずれて耳に残るとけがや病気の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- **本機は精密機器のため落としたりぶつけたりせずに、ていねいに扱ってください。**
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ユニット部とプラグは、乾いた柔らかい布で時々からぶきしてください。
- ユニット部に息を吹きかけないでください。
- イヤーピースがはずしにくいときは乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。
- イヤーピースが汚れたら本機からはずして薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水気をよくふいてから取り付けてください。

静電気に関するご注意

人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じることがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

イヤーレシーバーをはずすときは

使用後は、ゆっくりと耳から取りはずしてください。

ご注意

本機は密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜などを痛める危険があります。
また、装着しているときに振動板から音が生じる場合がありますが故障ではありません。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合は、別売りのEP-EX11シリーズ(SS、S、M、L、LLの各サイズ)をお買い求めください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

ヘッドホンをご使用中に困ったときや、トラブルが発生したときは

ヘッドホンサポートのホームページで調べる。
http://www.sony.jp./support/headphone/

二次元コード読み取り機能でご利用ください。

音が出ない・ノイズが出る・音が途切れるなど、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

主な仕様

形式:	密閉トリプル・バランスド・アーマチュア
ドライバーユニット:	トリプル・バランスド・アーマチュア
最大入力:	100 mW (IEC*)
インピーダンス:	16 Ω (1 kHzにて)
音圧感度:	101 dB/mW
再生周波数帯域:	5 Hz～40,000 Hz
ケーブル:	約1.2 m 銀コート OFC リッツ線、着脱式、Y型
プラグ:	金メッキL型ステレオミニプラグ
質量:	約7 g(ケーブル含まず)

付属品

ハイブリッドイヤーピース(SS、S、M、L 各 2、出荷時はMサイズが装着)
キャリングケース(1)
ケーブル長アジャスター(1)
クリップ(1)

* IEC(国際電気標準会議)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますのでお買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

お問い合わせ・ご相談について

ホームページで調べる
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間など
http://www.sony.jp/support/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)
● 使い方相談窓口
フリーダイヤル ・・・・・・・・ 0120-333-020
携帯電話・PHS・
一部のIP電話 ・・・・・・・・ 050-3754-9577

● 修理相談窓口
フリーダイヤル ・・・・・・・・ 0120-222-330
携帯電話・PHS・
一部のIP電話 ・・・・・・・・ 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に、「**309**」+「**#**」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ

ソニーは製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をおすすめしております。
詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
http://sony.jp/reg/hp/

二次元コード読み取り機能でご利用ください。

製品のご登録についてのお問い合わせ
ソニーマーケティング(株)
My Sonyお客様窓口
www.sony.jp/msc/inquiry

©2015 Sony Corporation
Printed in Thailand